



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月28日

上場会社名 株式会社 ウェッズ
コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲妻 範彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理部長 (氏名) 中尾 宏平

TEL 03-5753-8201

四半期報告書提出予定日 2022年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,899	3.2	154	4.2	210	28.5	129	24.1
2022年3月期第1四半期	6,683	19.9	161		164		104	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 270百万円 (187.4%) 2022年3月期第1四半期 94百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	8.09	
2022年3月期第1四半期	6.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	21,703	15,307	64.3	870.37
2022年3月期	22,482	15,227	61.6	864.12

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 13,959百万円 2022年3月期 13,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		10.00		10.00	20.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,900	6.4	380	1.7	385	2.2	230	1.1	14.34
通期	36,500	5.0	1,530	0.6	1,535	0.8	890	3.1	55.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	16,118,166 株	2022年3月期	16,118,166 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	80,039 株	2022年3月期	80,039 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	16,038,127 株	2022年3月期1Q	16,038,139 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、行動制限の緩和などによる個人消費、また輸出など持ち直しの動きが見られました。一方で、新たな変異株による新型コロナウイルス感染の再拡大、さらに世界的な半導体不足による自動車の生産調整、中国のゼロコロナ政策による供給網への影響、ウクライナ情勢の長期化等、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響は緩和するものの新車販売台数の減少などもあり自動車関連卸売事業は微増でしたが、他事業で増加し、6,899百万円（前年同期比3.2%の増収）と215百万円の増収となりました。また、営業利益は154百万円と6百万円の減益、経常利益は210百万円と46百万円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、129百万円と25百万円の増益となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

		自動車関連卸売事業	物流事業	自動車関連小売事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第1四半期連結累計期間	4,578	1,646	629	130	171	△257	6,899
	前第1四半期連結累計期間	4,575	1,470	532	106	293	△295	6,683
セグメント利益又は損失(△)	当第1四半期連結累計期間	123	△13	23	23	△1	△0	154
	前第1四半期連結累計期間	152	5	△4	4	3	△0	161

(自動車関連卸売事業)

自動車関連卸売事業の売上高は、4,578百万円となり前年同期比3百万円(0.1%)の増収となりました。これは、自動車用品等の販売は減少しましたが、主力のアルミホイールが売上増となったことによるものです。一方、セグメント利益は、原材料価格の上昇や円安などによる仕入コストアップ等により、123百万円となり前年同期比29百万円(△19.5%)の減益となりました。

(物流事業)

物流事業の売上高は、既存顧客との取引増加に加え新規取引等により1,646百万円となり前年同期比176百万円(12.0%)の増収となりました。一方セグメント損失は倉庫売上に伴う外部倉庫費用の増加等により13百万円と18百万円の悪化となりました。

(自動車関連小売事業)

自動車関連小売事業の売上高は、タイヤはじめ自動車用品等の販売がジェームス各店及び通販共に増加し、629百万円となり前年同期比96百万円(18.0%)の増収となりました。セグメント利益は23百万円となり、前年同期比27百万円の改善となりました。

(福祉事業)

福祉事業の売上高は、有料老人ホームや訪問介護等、既存事業の収入増に加え、昨年12月立上げの訪問看護事業により130百万円と前年同期比23百万円(22.4%)の増収となりました。セグメント利益は23百万円となり、前年同期比19百万円(473.5%)の増益となりました。

(その他)

携帯電話代理店事業の売上高は、販売台数の減少に加え、1店舗譲渡により4店舗体制となったこと等により151百万円となり前年同期比122百万円(△44.8%)の減収、賃貸事業の売上高は20百万円となり前年と同額、合わせて171百万円となり前年同期比122百万円(△41.8%)の減収となりました。セグメント利益は、携帯電話代理店事業では販売費等経費は減少するも、売上減によりセグメント損失は13百万円と前年同期比4百万円損失が悪化しました。また賃貸事業は、セグメント利益は11百万円となり前年とほぼ同額、合わせて1百万円のセグメント損失となり前年同期比4百万円の悪化となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における総資産額は21,703百万円となり、前期末に比べて779百万円減少しました。主たる要因は、売掛債権が減少したことによるものです。

負債総額は6,396百万円であり、前期末に比べて858百万円減少しました。主たる要因は未払法人税等及び買掛債務の支払によるものです。

純資産は15,307百万円となり、前期末に比べて79百万円の増加となりました。主たる要因は繰延ヘッジ損益の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第1四半期における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、2022年5月13日付当社「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2023年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,997,998	4,825,466
受取手形及び売掛金	3,974,287	3,097,989
電子記録債権	185,593	148,094
商品	3,124,500	3,156,630
仕掛品	221,183	219,854
原材料及び貯蔵品	77,185	86,740
デリバティブ債権	349,891	534,901
前渡金	281,579	689,997
その他	442,178	282,061
貸倒引当金	△426	△351
流動資産合計	13,653,972	13,041,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,964,790	7,977,181
減価償却累計額	△4,452,895	△4,527,276
建物及び構築物(純額)	3,511,895	3,449,904
土地	3,357,656	3,357,656
その他	1,476,902	1,472,400
減価償却累計額	△1,191,643	△1,206,072
その他(純額)	285,258	266,327
有形固定資産合計	7,154,810	7,073,888
無形固定資産		
のれん	85,352	80,766
その他	65,108	59,417
無形固定資産合計	150,461	140,184
投資その他の資産		
投資有価証券	454,633	452,937
繰延税金資産	403,909	324,802
退職給付に係る資産	70,876	70,337
長期未収入金	116,217	116,181
その他	598,929	604,665
貸倒引当金	△120,857	△120,701
投資その他の資産合計	1,523,708	1,448,223
固定資産合計	8,828,979	8,662,295
資産合計	22,482,952	21,703,680

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,800,501	2,404,074
短期借入金	245,440	281,440
未払法人税等	430,954	68,956
賞与引当金	216,039	235,149
役員賞与引当金	61,300	14,235
その他	910,070	854,974
流動負債合計	4,664,305	3,858,829
固定負債		
長期借入金	1,588,560	1,555,200
繰延税金負債	5,240	4,731
修繕引当金	70,960	72,460
退職給付に係る負債	226,965	234,129
役員退職慰労引当金	146,475	119,061
資産除去債務	199,714	200,100
その他	353,297	352,139
固定負債合計	2,591,213	2,537,822
負債合計	7,255,519	6,396,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	845,913	845,913
利益剰余金	11,754,177	11,723,489
自己株式	△47,781	△47,781
株主資本合計	13,405,059	13,374,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178,543	176,928
繰延ヘッジ損益	242,754	371,114
為替換算調整勘定	32,492	36,712
その他の包括利益累計額合計	453,790	584,756
非支配株主持分	1,368,583	1,347,899
純資産合計	15,227,433	15,307,028
負債純資産合計	22,482,952	21,703,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	6,683,752	6,899,568
売上原価	5,281,191	5,469,230
売上総利益	1,402,561	1,430,338
販売費及び一般管理費	1,241,175	1,275,736
営業利益	161,385	154,601
営業外収益		
受取利息	91	141
受取配当金	6,312	5,157
為替差益	667	—
保険解約返戻金	107	48,806
その他	5,317	8,977
営業外収益合計	12,495	63,083
営業外費用		
支払利息	1,497	1,351
固定資産除却損	4,825	0
為替差損	—	2,977
その他	3,382	2,419
営業外費用合計	9,705	6,748
経常利益	164,175	210,936
税金等調整前四半期純利益	164,175	210,936
法人税、住民税及び事業税	66,126	48,639
法人税等調整額	△6,701	22,627
法人税等合計	59,424	71,267
四半期純利益	104,751	139,668
非支配株主に帰属する四半期純利益	274	9,975
親会社株主に帰属する四半期純利益	104,477	129,693

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	104,751	139,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,065	△1,612
繰延ヘッジ損益	△19,325	128,360
為替換算調整勘定	1,673	4,220
その他の包括利益合計	△10,586	130,968
四半期包括利益	94,164	270,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,863	260,659
非支配株主に係る四半期包括利益	301	9,977

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,444,517	1,305,698	532,632	106,959	6,389,807	293,944	6,683,752	—	6,683,752
セグメント間の内部売上高又は振替高	130,494	164,727	351	—	295,573	—	295,573	△295,573	—
計	4,575,011	1,470,426	532,984	106,959	6,685,381	293,944	6,979,326	△295,573	6,683,752
セグメント利益又は損失(△)	152,975	5,512	△4,259	4,029	158,258	3,193	161,451	△66	161,385

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額66千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,462,735	1,505,744	628,992	130,913	6,728,386	171,182	6,899,568	—	6,899,568
セグメント間の内部売上高又は振替高	116,219	141,010	34	—	257,264	—	257,264	△257,264	—
計	4,578,954	1,646,755	629,027	130,913	6,985,650	171,182	7,156,833	△257,264	6,899,568
セグメント利益又は損失(△)	123,127	△13,311	23,351	23,110	156,277	△1,651	154,625	△24	154,601

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額24千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。